

令和4年度 第3回可美小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年12月6日（火）10:00～12:00
- 2 開催場所 可美小学校 多目的ホール
- 3 出席委員 須佐勝己会長、大畑尉智子副会長、朝比奈直、内山和博
田中亜希子、中村裕康、河合さくら（学校支援コーディネーター兼務）
高柳桃子（学校支援コーディネーター兼務）
- 4 オブザーバー 浜松市市議会議員 小野田康弘
可美協働センター 門奈暁彦
- 5 学 校 中村孝夫校長 夏目聡美教頭 長谷川明美主幹教諭
伊藤昌代 CS 担当教諭 河合昭子 CS ディレクター
- 6 浜松市教育委員会 教育総務課 鈴木陽子
- 7 校長挨拶 音楽会 3年ぶりの開催（心のハーモニーが感じられた。感動した）
市町駅伝に6年山下准さんが出場。
学校の教育活動は順調に進んでいる。
- 8 協議事項 今回の議長は須佐会長
- 9 会議録作成者 CS ディレクター河合昭子
- 10 会議記録

司会の夏目教頭から委員総数8名全員の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営について

○可美小の特色ある教育活動について夏目教頭より説明があった。

- ① 地域社会と連携したキャリア教育の推進
- ② 自尊感情・思いやりの高まり ペア学年による活動
- ③ 小中交流あいさつ運動
- ④ ICT活用した授業実践 ジャムボードで情報整理 画面上で意見を書き込める
- ⑤ みんなが主役の特別活動 なかよし 和太鼓
- ⑥ 学校教育を支えるボランティア活動

社会福祉協議会の学習支援ボランティア（なかよし図工）

図書ボランティア ブックファミリー、学習ボランティア（算数）

○全国学力・学習状況調査（6年生国語 算数 理科）について長谷川主幹教諭より説明し、それらについて、各委員から以下の発言があった。

○6年生のキャリア教育 学校工事現場の見学は今だからできること。

来年からはできなくなる。それに代わるものは？（須佐会長）

→浜松市の出前講座とか創立150周年も含め考えていきたい。（校長）

○交流ができるようになってきたが、ペア学年のことは成人しても覚えている。

昔のように交流が戻ればよいと思う。（大畑委員）

→今年からペア学年の活動再開。できるところからやっていく（校長）

- ワード、エクセル、power ポイントに代わるソフトを使っているが、ソフトが変わっても使えるのか。ICT の進め方が学年によって違うと思う。(朝比奈委員)
- 浜松市はすべて同じソフトを使っている。(グーグルクローム) 心配しなくてもよい。(小野田氏)
- 得手不得手はあるが、若い先生が引っ張ってくれている。(校長先生)
- 挨拶運動、音楽会 続けてほしい。 親が感動した。(内山委員)
- 学習状況調査 新聞を取っていない家庭が多いと思うが、新聞に触れる環境に恵まれているというのは本当か。(内山委員)
- 全国と市の平均を比べたものである。(長谷川主幹教諭)
- 図書ボランティアが子供に良い影響を与えられていれば嬉しい。ボランティアあつての活動なので、コロナが落ち着いたたらたくさん参加してほしい。学校も活動を盛り上げてほしい。(田中委員 図書ボラ代表)
- 図書ボランティアには感謝。コロナが収まれば多くの方に学校へ足を運んでほしい。(校長)
- 読み聞かせを高学年も楽しみにしている。(伊藤教諭)

(2) 学校運営に必要な支援について

- 算数のボランティアを数年前から始めた。(中村委員)
- 算数のボランティアに入ってきてくださっていることは知らなかった。(須佐会長)
- CS の活動を広げていく。 周知していく。(河合委員)
- CS 何をしたらいいのか？どこまでやっていけるのか？
コロナ禍でももっと色々やれるといい。(高柳委員)
- 可美小にはいろんなボランティアがある。(校長)
- 中学と小学校全く違うし、小学校間でも違う。(河合委員)
- 中学校では、このようなことをやりたいという要望→CS でどんな協力ができるか？(小野田氏)
- 受験の面接練習を中学でやった。小学校では学年ごとに協力する。(小野田氏)
- 出来ることを協力していく(中村委員)
- キャリア教育 中学では 職場体験先を探すなどの協力(小野田氏)
- 協働センターだよりを通じてボランティア紹介など募集もできる(門奈氏)

11 その他報告事項等

- (1) 次回 令和5年2月9日(木) 10:00~12:00 多目的ホール
 - (2) 次回議長は大畑副委員長
 - (3) 次回熟議の内容確認 2 ページ参照 学校運営協議会自己評価アンケート 12月13日までに提出をお願いしたい。
- 以上司会の夏目教頭より連絡があった。